

コード No. 10237

**Anti-Human  
Tau/Repeat Domain (2B11) Mouse IgG MoAb**

容量 : 100 µg

**はじめに** : タウタンパク質は、細胞骨格の一種である分子量 5 万～7 万の微小管結合タンパク質です。アルツハイマー病などにおいては、異常にリン酸化されたタウタンパク質の蓄積が認められており、微小管から離れタウタンパク質同士で結合し神経原線維変化を生じると考えられています。このタウタンパク質には、第 17 染色体上に位置するタウ遺伝子の選択的スプライシングによって生成される 6 つのアイソフォームが知られています。

**免疫抗原** : Human Tau/Repeat Domain 部分の合成ペプチド(PGGGKVQIVYKP)

**起源** : マウス×マウス ハイブリドーマ  
(X63 – Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)

**クローン名** : 2B11                      **サブクラス** : IgG<sub>1</sub>

**精製方法** : Anti-mouse IgG による特異精製

**包装形態** : 1 % BSA, 0.05 % NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

**再生方法** : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 µg/mL となります)

**保存方法及び安定性** : 2～8 °C 保存                      5 年間安定  
溶解後 -20 °C 保存                      2 年間安定

**使用目的及び使用方法** : 免疫組織染色 5 µg/mL にて使用可能  
ホルマリン固定、パラフィン包埋切片の場合、脳組織ではギ酸処理\*によって染色性が著しく向上します。

\*ギ酸処理方法: 脱パラフィン後ギ酸に 5 分間浸漬した後、流水洗浄

: ウェスタン・ブロッティング 3～5 µg/mL にて使用可能

**特異性** : 弊社抗タウモノクローナル抗体製品とタウタンパク質アイソフォームの特異性は以下の通りです。

C 末端側		Tau 3 repeat			Tau 4 repeat		
N 末端側		Tau 352	Tau 381	Tau 410	Tau 383	Tau 412	Tau 441
製品番号	10233	+	—	—	+	—	—
	10235	—	+	—	—	+	—
	10237	+	+	+	+	+	+